



事業トピックス

林木遺伝資源連絡会の設立

林木育種センター 遺伝資源部 下村 康広・丹藤 修

1 はじめに

近年、林木遺伝資源は新品種の開発の材料としてのみならず、平成14年度に策定された「新・生物多様性国家戦略」にも記載されているように、生態系の保全や種の絶滅防止とその回復などの観点からも、その保存、保全、利用の重要性がますます高まっています。

このような状況の中、今後、我が国の林木遺伝資源の収集、保存、保全をより効率的、効果的に実施し、また、その利用等をさらに充実させていくためには、林木遺伝資源に係る広範な機関等の間の連携

を強化し、林木遺伝資源に関する情報や意見の交換等を継続的に行う仕組み作りが必要であり、林木センターでは、連絡会の設立を関係機関等へ働きかけてきました。

そして、平成17年12月1日、都道府県、森林管理局、緑資源機構、森林総合研究所、大学、民間など多くの機関や団体等が連携をして林木遺伝資源に関する情報や意見の交換などを行う「林木遺伝資源連絡会」が発足しました。

この連絡会について、その概要を紹介します。

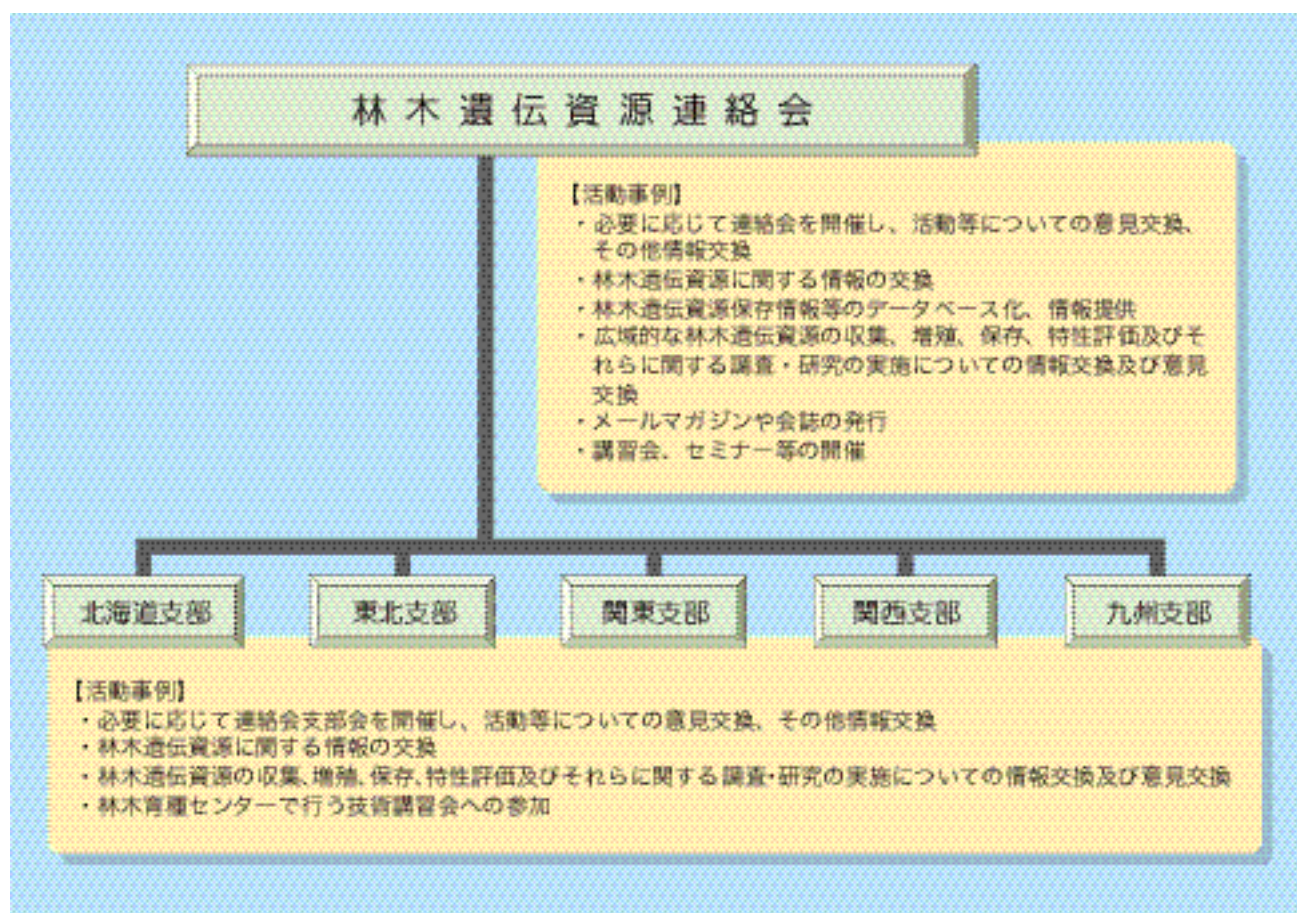


図 - 1 林木遺伝資源連絡会の組織と活動事例

2 林木遺伝資源連絡会の概要

(1) 会の名称

本連絡会の名称は、会員予定者へのアンケートを実施し、その結果一番希望の多かった「林木遺伝資源連絡会」に決まりました。

(2) 目的

本連絡会は、会員相互の連携を図り、林木遺伝資源に関する情報や意見の交換、技術の研鑽等を行い、我が国における林木遺伝資源の確保、保全及び特性評価の推進に寄与することを目的としています。

(3) 組織

連絡会には、活動を効率的、効果的に行うため、北海道支部、東北支部、関東支部、関西支部及び九州支部を置いています(図-1参照)。また、連絡会には、役員として会長(林木育種センター理事長 田野岡章)と若干名の幹事を置き、各支部にも、支部長と若干名の幹事を置いています。

なお、現在の会員数は、100の大会を超えたところ です。

(4) 活動の内容

主な活動内容は、図-1の活動事例のとおりです。

この会自体は、林木遺伝資源の収集や保存などの事業や研究などを直接実施するものではありませんが、ソフト面でそれらの事業や研究の発展を支えていくものです。それぞれの会員の保有されている林木遺伝資源(公表しないものを除く。)のデータベース化とその情報の提供、林木遺伝資源に関する情報や意見の交換、情報発信、将来的には林木遺伝資源に関するセミナーの開催などを行っていくものです。

当面は、次のことを重点に活動を進めることとしています。

会員の保有する林木遺伝資源の保存情報のデータベース化の推進とその情報の提供

林木遺伝資源に関する情報や意見の交換、特に、巨樹・銘木等林木遺伝資源の収集、増殖、保存に係る情報の交換

メールマガジンや会誌の発行

会員の拡充

なお、この連絡会の活動とその充実により、我が国における林木遺伝資源に関係する多くの機関、団

体等が連携を密にし、林木遺伝資源に関する情報や意見の交換等を行うことによって、林木遺伝資源の収集や保存、保全や保存情報の集積などの推進が、より一層活性化することが期待できます。

3 入会

連絡会へは、上記の2の(2)の連絡会の目的に賛同する機関(機関の一部の組織を含む。)団体であれば、入会していただくことができます。また、個人の場合には、連絡会の目的に賛同し、かつ、林木遺伝資源を保有している方又は学識経験者であれば入会していただくことができます。

我が国の林木遺伝資源の保存、保全、利用やそれらに関連する研究の一層の発展に資するためには、より多くの方々のご参加をいただき、この会の充実を図っていく必要があります。会費は無料です。

多くの方々のご入会をお待ちしています。

入会に関するお問い合わせは、次の最寄りの支部の事務局へお願いいたします。

【連絡会の入会に関するお問い合わせ先】	
支 部 名	連 絡 先
北海道支部	林木育種センター北海道育種場 遺伝資源管理課 Tel 011 - 386 - 5087
東北支部	林木育種センター東北育種場 遺伝資源管理課 Tel 019 - 688 - 4805
関東支部	林木育種センター遺伝資源部 Tel 0294 - 39 - 7048
関西支部	林木育種センター関西育種場 遺伝資源管理課 Tel 0868 - 38 - 1767
九州支部	林木育種センター九州育種場 遺伝資源管理課 Tel 096 - 242 - 3151

また、連絡会のホームページも随時更新しています。あわせてご覧ください。

<http://labglt.nftbc.affrc.go.jp/g-renrakukai/index.htm>